

都市再生整備計画 事後評価シート
河内松原駅周辺地区

平成24年3月

大阪府松原市

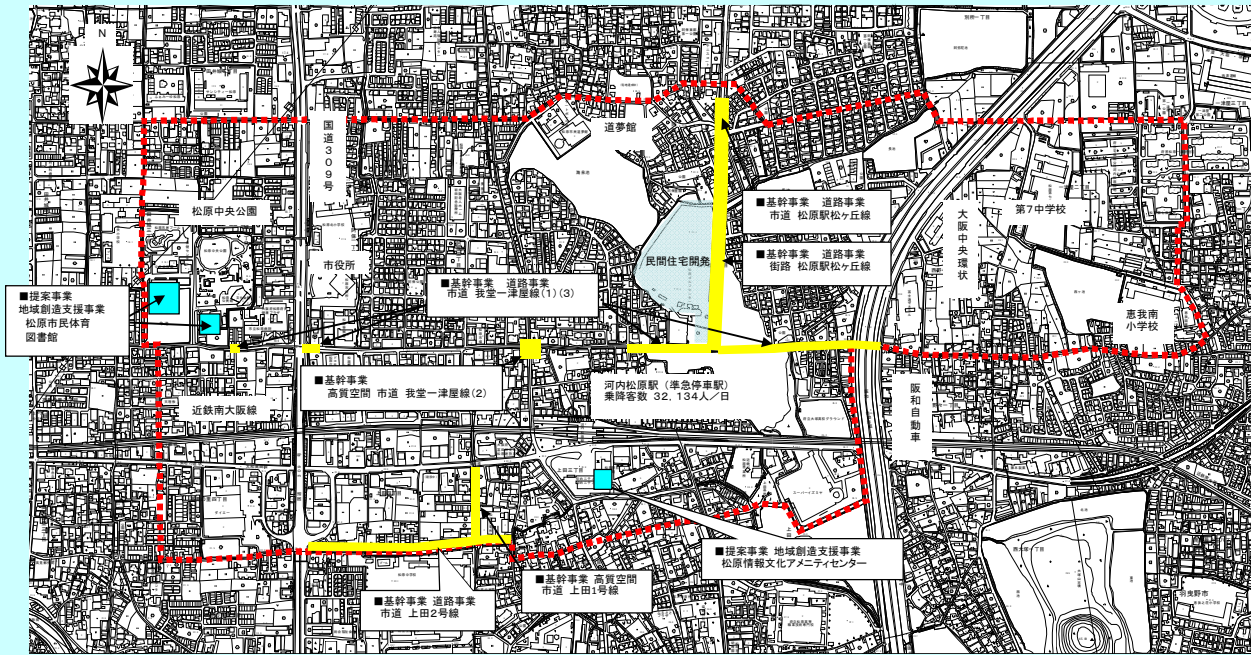
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	松原市	地区名	河内松原駅周辺地区			面積	181ha				
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	487.5	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路事業(都市計画道路松原駅松ヶ丘線、市道我堂一津屋線(1)(3)、市道上田2号線)、高質空間形成施設事業(市道我堂一津屋線(2)、市道上田1号線)									
			提案事業	事業活用調査(まちづくりアンケート)									
			事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	事業活用調査(まちづくりアンケート)			別業務(都市計画マスタープラン)でアンケートを実施することになり、削除。		別業務で補完できるので影響なし。				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道松原駅松ヶ丘線)			都市計画道路松原駅松ヶ丘線の整備に伴い、既設市道への接続部において、交差点改良が必要ため、追加。		都市計画道路松原駅松ヶ丘線と合わせて効果を発揮する事業なので、目標、指標、数値目標への影響はなし。				
		提案事業	地域創造支援事業(市民体育館・図書館、松原情報文化アメニティセンター)			市民体育館・図書館:地区内公共施設のバリアフリー化のため、追加 松原情報文化アメニティセンター:市民等への公益活動の場の提供に必要なため、追加。		新たな目標の追加とそれに対応する指標及び数値目標の追加。					
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
		変更	—										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	商店街の通行者数	人/日	12,873	H14	14,000	H23	10,193	△	あり なし	●	当初計画されていた共同住宅の計画変更(3棟→1棟)、スーパー等の建設に伴う新たな道路整備による商店街利用者動線の変化、商店街の業種構成による集客力の低下等の要因により、商店街の通行者数は目標値を下回ったが、従前と同条件と考えられる場所の通行者数データの中で、通勤時間帯を除いた通行者数を見ると、従前より増加していることは、評価できる。	平成24年6月
	指標2	通学経路の時間短縮	分	35	H18	20	H23	30	×	あり なし	●	用地交渉が難航し、一部歩道を設置できなかったため、当初予定していた通学経路の短縮は達成できなかった。	平成24年6月
	指標3	障害者の利用者数	人/年	477	H19	600	H23	763	823	○	あり なし		障害者も利用できる環境を整備することにより、障害者の利用者数増加につながった。
指標4	施設利用者数	人/年	20,000	H19	22,000	H23	20,265	22,247	○	あり なし		施設の更新により、利用者の利便性が向上し、それが利用者数増加につながった。	平成24年6月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1	駅周辺の人口	人	17,623	H18			17,764	17,772			●	基盤施設整備による交通環境及び住環境の向上により駅周辺人口の増加につながった。
その他の数値指標2	市民図書館の貸出人数	人/年	58,495	H18			62,554	65,195			●	基盤施設整備による交通環境の向上により図書館利用者数の増加につながった。	平成24年6月
その他の数値指標3	通学経路の時間短縮	分	35	H18				30			●	歩道整備による、通学経路の迂回が一部解消され、以前と比べ、安全・安心な通学路を確保することができた。	平成24年6月
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	松原市統計資料によるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 交付期間の中間時点における事業の効果を確認することができた。モニタリング同様に毎年度の本市統計資料により確認する。					
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	松原市アドプト・ガーデン・ロードプログラム(平成23年度～)による美化活動の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 参加団体を増やしていき、住民との協働による道路環境向上及び地域の活性化を図る。					

様式2-2 地区の概要

河内松原周辺地区(大阪府松原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:安全で快適な生活とにぎわいのある街なか再生 目標1. 中心商店街の活性化: 地区内交通及び住環境の改善を通して、街なか居住の推進を図るとともに、市道我堂一津屋線の歩車分離を行い、歩行者が安心して集える空間の整備を図り、にぎわいのある商店街への再生を目指す。 目標2. 通学路の安全確保と通学経路の時間短縮: 危険な道を避け、遠回りとなっている通学路を、歩道設置により安全の確保と通学経路の時間短縮を図る。 目標3. だれもが安心して参加のまちづくり: 地区内公共施設のバリアフリー化や会議室等の設置・準特定経路の整備を図り、だれもが安心して集い・参加、情報を共有し、発信できる場所を提供することにより、賑わいのあるまちづくりを目指す。	商店街の通行者数	単位: 人/日 12,873 H14	14,000 H23	10,193 H23
	通学経路の時間短縮	単位: 分 35 H18	20 H23	30 H22
	障害者の利用者数	単位: 人/年 477 H19	600 H23	823 H22
	施設利用者数	単位: 人/年 20,000 H19	22,000 H23	22,247 H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○都市基盤整備による交通環境や住環境の改善により歩行者の安全性や快適性が以前より向上した ○駅周辺人口の増加や図書館等の公共施設利用者数の増加が見られることから人が集まるまちへと改善できた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○整備された都市基盤を維持していくため、松原市アドプト・ガーデン・ロードプログラム等を活用しながら、美化活動を進める。 ○さらなる安全性の向上のため歩行空間確保に努める ○再整備された公共施設については、その施設情報を市民の方に発信し、さらなる利用者増加を図る。